

ST-5
#19

Birth Racing Project

Press release - 2013. 11.09-11.10



Race Report



Super Taikyu 2013 Series Round-7 / Autopolis

(2013.11.09-11.10)

BRP☆HYPER ECU C72 制動屋J' Sフィット

濃霧・雨の荒れた決勝レースを乗り越え、シリーズチャンピオンとして最終戦をポールトゥウインで飾る！

Birth Racing Project【BRP】は2013年11月9日～10日にオートポリスで初開催された「スーパー耐久シリーズ第7戦 オートポリス」において、濃霧・雨の気象の荒れた決勝レースを、ドライビングとチーム戦略の総合力でシリーズチャンピオンとして迎えた最終戦を見事ポールトゥウインで飾りました。

【11月8日(金)公式フリー】天候:晴れ 路面:DRY

シリーズチャンピオンを獲得した、前戦鈴鹿から約1ヶ月经過して今年の最終戦オートポリスのレースウィークがスタートしました。昨年同様に決勝は雨の予報で、本日はドライとウェットの両方を想定したセット出しを進めました。今回も19号車と合わせて91号車も来季の体制のテストを兼ねて走行を行いました。19号車はのCドライバーにはBDTPドライバー2期生の恩塚選手のデビューレースとなり積極的にコースと車両に慣れる為に走行を行いました。



【11月9日(土)公式予選】天候:晴れ 路面:DRY

Aドライバー奥村浩一から予選に挑みます。奥村浩一は2' 13.086で予選クラス1番手をマーク。続くBドライバー古宮正信が、2' 12.370を叩き出し予選クラス1番手をマーク。更に昨年松田選手が樹立したコースレコードをチームメイトが更新。最後にCドライバー恩塚一将も2' 23.701で予選を無事に通過して、コースレコード樹立&ポールポジションを獲得しました。

【第7戦オートポリスST5クラス予選結果】

Aドライバー:奥村 浩一 コース:ドライ タイヤ:スリック 2' 13.086 クラス1位

Bドライバー:古宮 正信 コース:ドライ タイヤ:スリック 2' 12.370 クラス1位

Cドライバー:恩塚 一将 コース:ドライ タイヤ:スリック 2' 23.701 クラス6位

1位 No.19 BRP☆HYPER ECU C72制動屋J' Sフィット(GE8) 4' 25.456

2位 No.36 エンドレスアドバントラストヴィッツ(NCP91) 4' 28.175

3位 No.99 RS☆R DIXCEL・NUTECデミオ(DE5FS) 4' 28.478

4位 No.602 PTGランドリー602明京産業Vitz(NCP91) 4' 30.451

5位 No.17 DIXCELアラゴスタNOPROデミオ(DE5FS) 4' 31.100

6位 No.26 エンドレスアドバン日光ヴィッツ(NCP91) 4' 33.740

7位 No.55 メビウスリングレーシング Vitz(NCP91)4' 44.527



【11月10日(日)決勝】天候:雨／濃霧 路面:WET

天気予報は更に悪い方向に的中して、決勝レースの日曜日は雨・濃霧という昨年同様の最悪のコンディションとなりました。天候の回復を待ちながらレーススケジュールは大幅に延期し、最終的にレース時間を1時間に短縮して、SCスタートとなり悪天候の中決勝レースはスタートしました。スタートドライバーは古宮正信が勤めて、スタート直後SC中にドライバー交代のピットインを行い、奥村浩一に交代し、奥村もアウトインですぐさまピットインして再び古宮正信にドライバー交代を行い、スタートからのSC中に連続して2回のピット義務を果たし、コースインして雨・濃霧の悪天候の視界数メートルの中追い上げを開始します。その後も天候が安定せず、コースアウトやクラッシュも続出でSCも数回入る状況でしたが、徐々に天候は回復していきました。レース終盤までには見事首位に振り返り、チーム戦略とドライバー走りのチームが持つ総合力で見事ポールトゥウインでシリーズチャンピオンとして迎えた最終戦を有終の美で飾りました。

【第7戦オートポリスST5クラス決勝レース結果】

1位	No.19	BRP☆HYPER ECU C72制動屋J'Sフィット(GE8)	40	2:01' 34.019
2位	No.99	RS☆R DIXCEL・NUTECデミオ(DE5FS)	39	2:01' 51.988
3位	No.602	PTGランドリー602明京産業Vitz(NCP91)	39	2:01' 53.508
4位	No.36	エンドレスアドバントラストヴィッツ(NCP91)	39	2:02' 21.687
5位	No.17	DIXCELアラゴスタNOPROデミオ(DE5FS)	39	2:02' 34.388
6位	No.26	エンドレスアドバン日光ヴィッツ(NCP91)	38	2:02' 26.598

リタイア No.55 メビウスリングレーシング Vitz(NCP91)

【コメント】

チーム代表兼ドライバー：奥村浩一

前戦ホームの鈴鹿で悲願のシリーズチャンピオンを獲得して、チャンピオンとして臨んだオートポリス戦は今まで少し違ったテンションでレースウィークが進みました。「なにがなんでも勝つ！」という事よりも、最終戦をミスやトラブル無く無事に終える事が意識の中で強くなり、文字通り「守りのレース」をする意識に流されそうになりましたが、そのような意識の時こそミスやトラブルを誘発してしまうので、グッと気持ちを切り替えて最後の最後まで攻めの姿勢でレースウィークを戦いました。

チームはこの3年間常に決して諦める事なく、前を向き真摯にレースと向き合い戦い続けました。そのレースへの姿勢が今回最終戦でポールトゥウインという最高の結果(集大成)として表れました。2011年より3ヵ年計画で参戦をして、2011年シリーズ3位、2012年シリーズ2位、そして2013年シリーズチャンピオンとコツコツと積み上げてきた3年間の歴史を振り返ると、心に込み上げてくる物がございます。本当に未熟なチームを3年間暖かくご支援を頂きましたスポンサーに感謝致します。そして、最後まで諦めずに1戦1戦全力で戦ってくれたドライバーそしてチームスタッフに心より感謝いたします。

来年は新しい体制でまた再びプロジェクトをスタートできるように準備しておりますので、また改めて皆様にご報告させていただきます。

最後にこの場を借りまして、BRPの活動にご支援・ご声援を頂く全ての方に感謝申し上げます。
今後とも何卒よろしくお願いいたします。

ST-5
#19

Birth Racing Project

Press release - 2013. 11.09-11.10



■マシン概要

Machine : HONDA Fit RS[GE8]
Engine : LI5A[1500cc]
Power : 120ps (6600rpm)
Torque : 14.8Kg/m (4800rpm)
Transmission : 6-speed MT

■チーム体制

Team : BRP☆HYPER ECU C72 制動屋 J'Sフィット
Entrant : Birth Racing Project[BRP]
Car No : 19
Driver : 奥村 浩一 / 古宮 正信 / 恩塚 一将
Maintenance : ジェイズレーシング

HONDA
The Power of Dreams

JSRACING

K&G
Racing Technology

YAMAHA
TOTAL BRAKE SYSTEM

CUSCO ADVAN HPI

mountain

BEL'OF

StellarV

AUTO STAGE
CLOSE UP

WHITENUTS
www.whitenuts.jp

ARD
MOTORSPORT PRODUCTS

emack
emack motorsport

roadrunner racing

WBS Works Bell

XPEL VAPST
Car Protection Specialist

SYNCHRO
MOTORSPORT

ART FACTORY
GARAGE

RAYS

OMC JAPAN

プレスリリースに関するお問い合わせ先 : office@brp.gr.com